

電波時計 取扱説明書 (報時付掛時計)

～ 製品の特長～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正します。
- 毎正時にチャイムで時刻をお知らせします。

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.

Service and technical support for this product are available only within Japan.

製造
発売元 リズム時計工業株式会社
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
<http://www.rhythm.co.jp>

(Y1312)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

図記号の説明 ◯は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

①は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

△警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

電池から液漏れが起きたときは、素手でさわらない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

電池に傷をつけない。
分解しない。
電池をショートさせない。
電池を充電しない。
加熱しない。
火の中に入れない。

電池に傷をつけない。
分解しない。
電池をショートさせない。
電池を充電しない。
加熱しない。
火の中に入れない。

直射日光が当たる所。
暖房機器などの風が当たる所。
温度が+50°C以上の所。
温度が-10°C以下の所。
ほこりが多く発生する所。
強い磁気を発生させる機器のそば。
車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
プール、温泉場などガスの発生する所。
調理場など多くの油を使用する所。
ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

△注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の+/-を正しく入れる

下記のような場所では使わない

液漏れや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。

精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

強い振動や衝撃を与えない

故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない

さびの発生や故障の原因になります。

ぬれた手で触らない

故障や誤作動の原因になります。

分解や改造をしない

けがや故障の原因になります。

分解禁止

電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かない所に置く。

電池の寿命について

付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電池の種類について

アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には向きですので使用しないでください。

電池、製品の廃棄

お住まい地区自治体の指定に従ってください。

電池と時計を分別して廃棄してください。

お手入れについて

汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

おもな製品仕様

使 用 温 度 範 囲	-10 ~ 50°C	*結露しないこと
時 間 精 度	標準電波受信成功直後の表示精度	時分針 目盛りに対して±3度
	標準電波を受信しない場合	平均月差±20秒（温度が5~35°Cのときのクォーツ精度）
使 用 電 池	表示用：単2形アルカリ乾電池 JIS 規格 LR14 1.5V 2個	内 藏：リチウム電池 CR2032 1個
電 池 寿 命	表示用：約1年	*標準電波の受信に成功し、報時を音量中位で17回／日使用したとき。
	内 藏：5年以上	*通常では電池を交換する必要はありません。
報 時 機 能	毎正時、30分に報時	
報 時 精 度	表示時刻に対して±1秒	
報 時 音	電子音 選択方式	
入 / 切 / 自動消音	スライドスイッチ *自動消音：明暗センサーと連動して暗所停止	
音 量 調 節	ロータリー式ボリューム	
報時音モニター	あり	
電 波 受 信 機能	標準電波受信による時刻修正	
受 信 局	福島局／九州局 自動選択	
受 信 ON/OFF	スライドスイッチ	
受 信 回 数	最少 1日1回 最多 1日12回	
標準電波受信開始時刻 条 件	回 数	開始時刻
▶ 受信成功から72時間以内の場合	1~3回／日	AM 2:16:40、AM 3:16:40、AM 4:16:40
▶ 連続72時間以上受信に失敗している場合		
▶ 初めから受信に失敗している場合	12回／日	奇数時の16分40秒 例 AM 1:16:40、AM 3:16:40など
▶ 手動で時刻合わせをした場合		

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

附属品

単2形乾電池	2個	リチウム電池（内蔵）	1個	木ねじ	1個
振り子	1個	取扱説明書	本書	保証書	1枚

（フリーダイヤル）**お客様相談室 0120-557-005**

受付時間 9:00 ~ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、裏面に表示してあります製品番号（型番）をお伝えください。例 4MNA〇〇

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたかかる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波（JJY）は、日本標準時（JST）をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

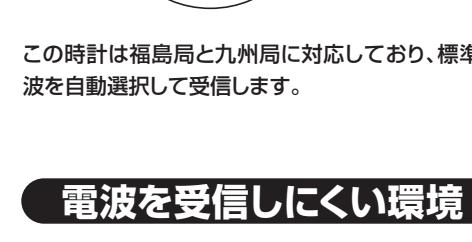
*標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどり山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(<http://jjy.nict.go.jp>)

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能ですが、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

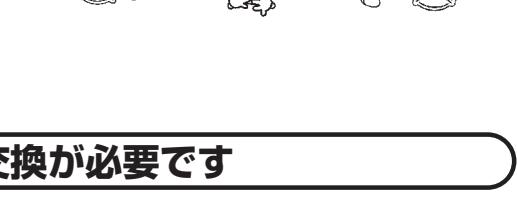


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



このようなときには、電池の交換が必要です

○針が動いているのに報時をしない。（報時スイッチは報時入または自動消音）

○時間が合わない。

電池の残量が少なくなると標準電波の受信を行いません。

○針、振り子が止まった。

○電池を入れて1年が経過した。（1年に1回定期交換してください。）

△注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

●時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。

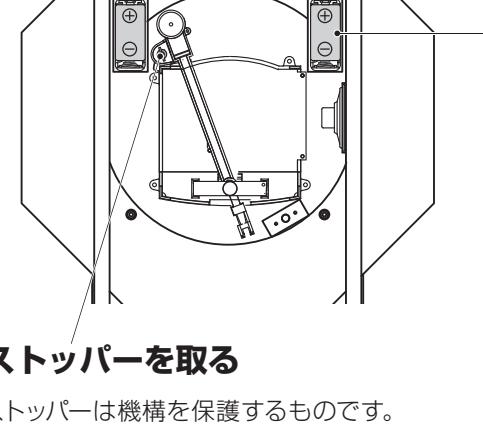
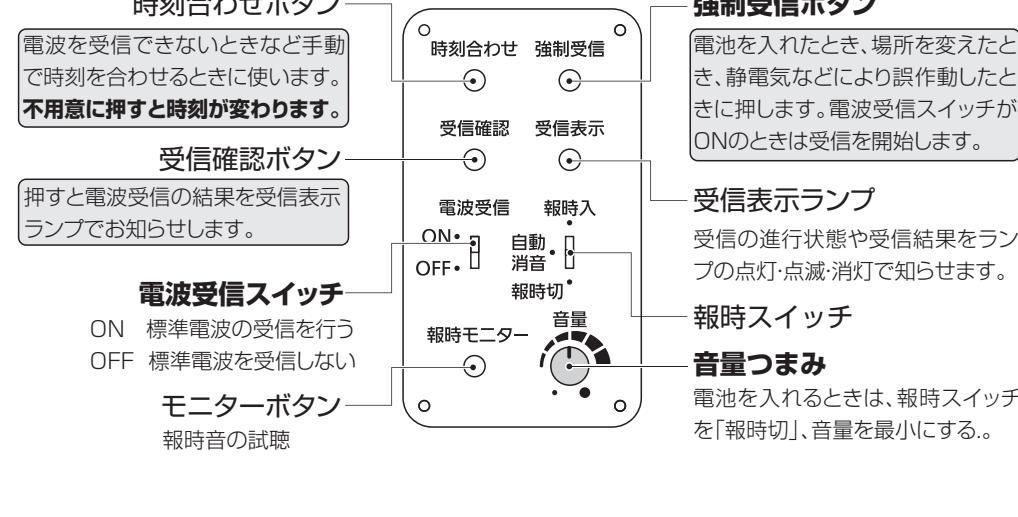
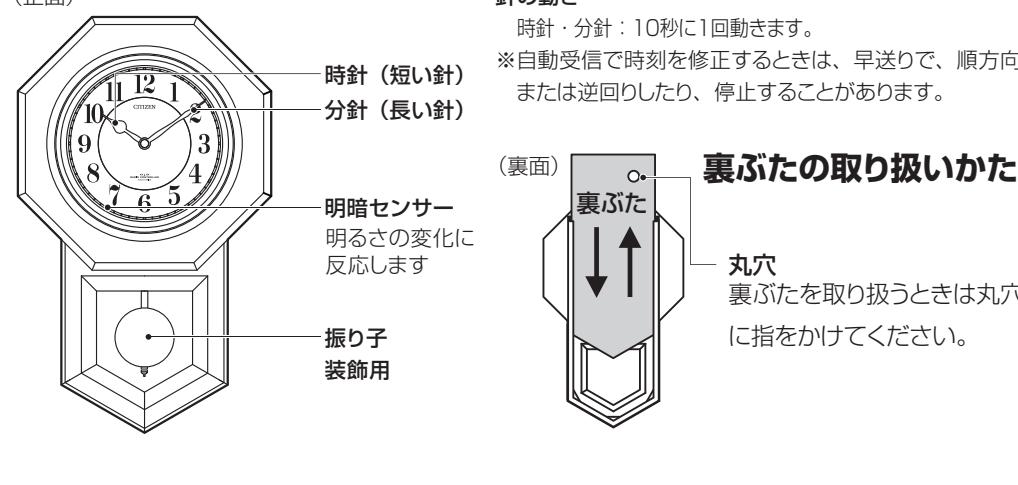
●古い電池と新しい電池、マンガンとアルカリ乾電池を混ぜて使わない。

●電池の+/-を逆に入れない。



各部の名称と役割

図は操作説明用ですので簡略化しております。実際の商品と異なることがあります。

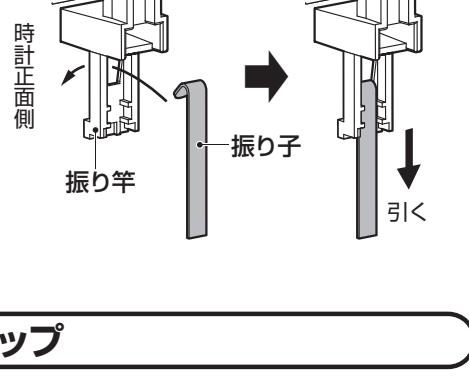


ストッパーを取る

ストッパーは機構を保護するものです。使用するときは、取り外してください。輸送する際は、必ず取り付けてください。



振り子の取り付け



内蔵電池による時刻のバックアップ

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻み続けています。表示用電池を入れて強制受信ボタンを押すと、およそ3分以内に内部時刻を表示します。表示用電池が消耗したときや取り外したときは、内蔵電池に切り替わります。

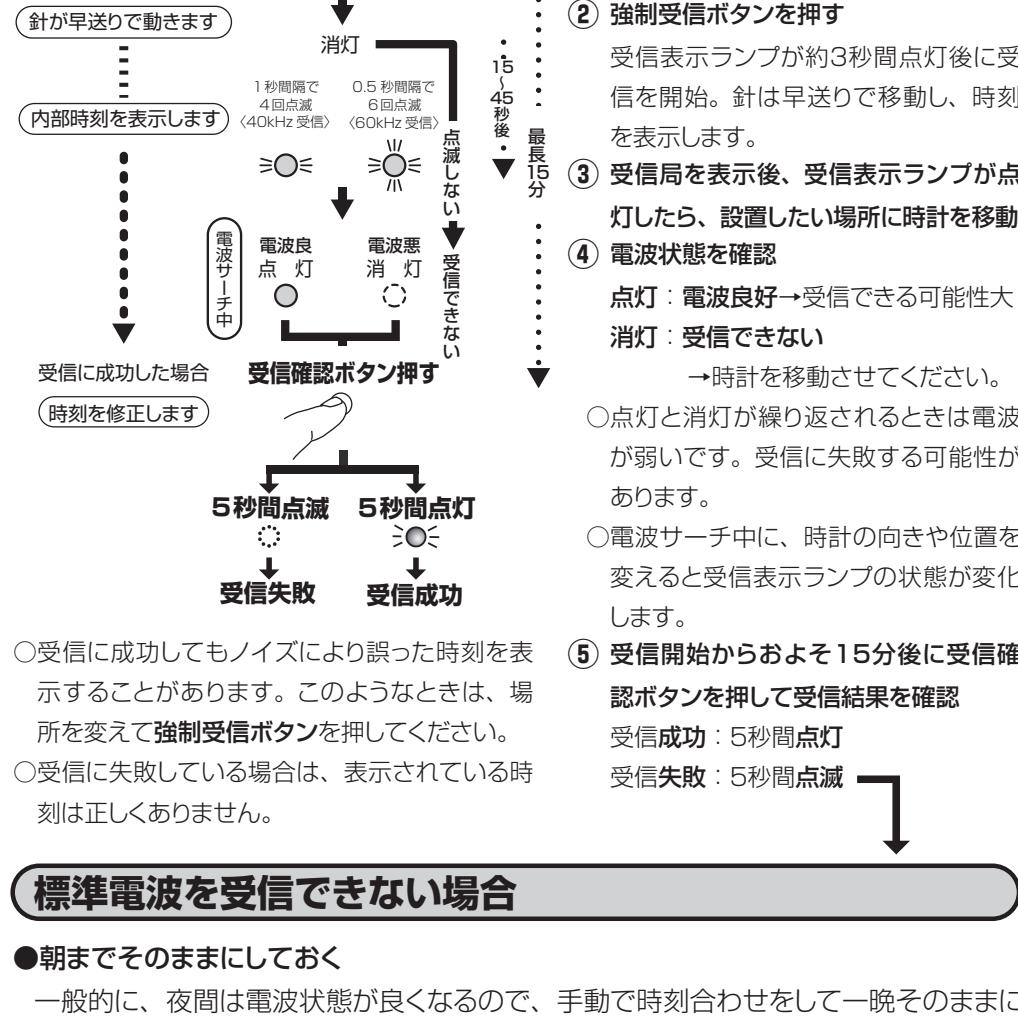
※内蔵電池のみでは、針による時刻表示や報時を行いません。

※電波受信スイッチがOFFに設定されているときは、受信を行いません。

※表示用電池により時刻表示がされているときには、内蔵電池を使いません。

※通常の使いかたでは内蔵電池の交換は不要です。

標準電波ー受信の流れとサーチ機能の使いかた



標準電波を受信できない場合

朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

時刻を合わせて使用する

ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

静電気の影響について

静電気の影響により、時計が正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

ご使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、[手動での時刻合わせ](#)を参照してください。

この時計は、時刻を合わせて出荷しております。

単2形アルカリ乾電池を入れてから強制受信ボタンを押してください。

強制受信ボタンを押してからおよそ3分以内に時刻を表示します。

※時刻合わせボタンを押さないでください。押すと時刻が変わってしまいます。

※時刻を表示する前に針が一時停止したり、順方向または逆回りで早送りしたりします。

下記の手順に従ってください。

① 電波受信スイッチがONになっていることを確認する

OFFになっているときはONにしてください。

② 音量を最小にする

操作中に報時が大きな音で鳴らないようにします。

③ 表示用の電池を2個入れる

④ 強制受信ボタンを押す

⑤ 振り竿部の緩衝材を取る

⑥ 振り子を取り付ける

⑦ 時計の掛けかたに従って時計を掛ける

⑧ お好みに応じて報時機能を設定する

標準電波の受信結果の見かたは、[標準電波ー受信の流れとサーチ機能の使いかた](#)を参照してください。

報時機能の設定

報時は、毎正時に時刻に応じた数のチャイムが鳴ります。たとえば、12時のときは、チャイムが12回鳴ります。また、30分にはチャイムが1回鳴ります。

<右側面操作部>



報時スイッチの設定

報時 入 : 每正時、30分に報時します。

自動消音 : 報時しますが、明暗センサーと連動して暗くなると報時を停止します。

報時 切 : 報時しません。

音量の調節

報時モニターボタンを押して、報時している間に音量つまみを回して調節します。

■報時音の試聴

報時モニターボタンを押すと報時音を奏でます。報時は時計が指している時刻に対応します。たとえば、3時35分のときは3時の報時音が鳴ります。

※手動で時刻を合わせた直後は、チャイムの数が合わないことがあります。

時計の掛けかた

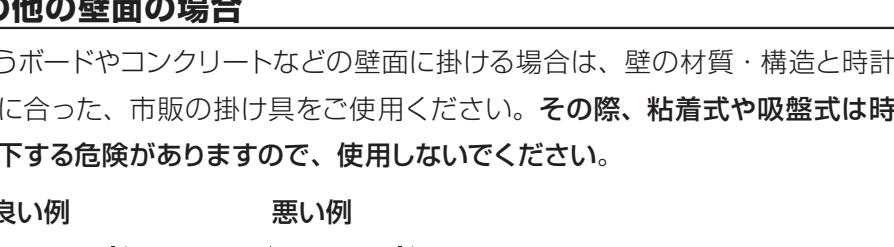
△注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、掛け具（木ねじ）に壁掛け部がしっかりと掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 壁掛け部以外に掛けないでください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかりと掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。
- 掛け部以外の所に掛けないでください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

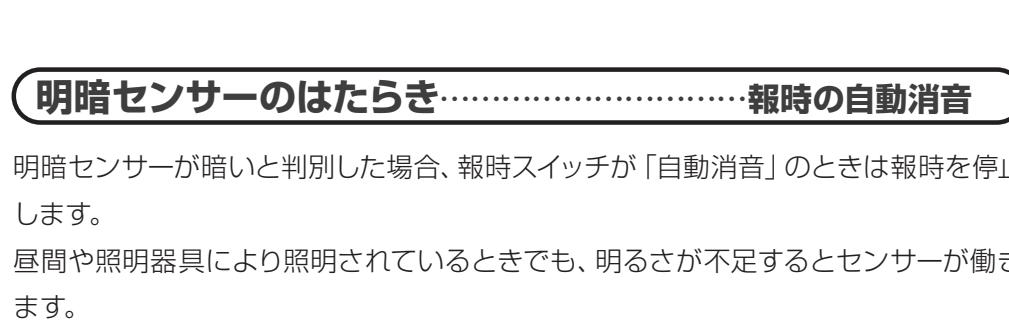
●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりとねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

●石こうボードやコンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落ちる危険がありますので、使用しないでください。



明暗センサーのはたらき……………報時の自動消音

明暗センサーが暗いと判別した場合、報時スイッチが「自動消音」のときは報時を停止します。

昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが働きます。

手動での時刻合わせ……受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信スイッチがONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

操作

○時刻合わせボタンを押してすぐに離した場合は1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。

秒は、時刻合わせボタンを離したときにゼロ秒になります。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

電波受信スイッチをONになると、定期的に標準電波の受信を試み、受信に成功すると必要に応じて、時刻を修正します。

電波受信スイッチをOFFにすると受信を行いません。クオーツ精度になります。

※電波受信機能がOFFのときは強制受信ボタンを押すと、針が早送りで動いたり、止まりしてから時刻を表示します。